



JAMS NEWS

日本経営システム学会
<http://www.jams-web.jp/>

日本経営システム学会 第73回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥こととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第73回全国研究発表大会が2024年12月7日（土）、8日（日）に開催されます。多くの会員の皆さまのご参加およびご発表を心よりお待ちしております。

記

開催日：2024年12月7日（土）、8日（日）

主催校：広島工業大学 五日市キャンパス

〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1

<https://www.it-hiroshima.ac.jp/access/itsukaichi/>

連絡先：実行委員長 広島工業大学 松本慎平 E-mail:s.matsumoto.gk@cc.it-hiroshima.ac.jp

主催：日本経営システム学会

統一論題：「技術の民主化と経営システム」

基調講演：「技術の民主化と経営システム」

武村達也様（株式会社エル・ティー・エス，広島インターネットビジネスソサエティ・DX研究部会・部会長，特定非営利活動法人HMCN）

参加費：会員5,000円、学生会員3,000円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員6,000円、非会員学生4,000円（当日支払は各1,000円高）

※参加人数の事前把握と受付混雑緩和のため、事前の参加申込へのご協力をお願いいたします。

懇親会費：会員5,000円、学生会員3,000円、協賛学会員5,000円、非会員6,000円

（当日支払各1,000円高）。準備の関係上、事前申し込みをお願いします。

昼食：最寄りのコンビニエンスストア等をご利用ください。商店街に飲食店がございます。

宿泊：会場周辺にはホテルがございません。広島市内のホテルをご手配下さい。観光シーズンのため早めのご予約をお勧めします。

参加申込：本JAMS NEWSに同封の振込用紙またはHPの振込方法を参考に11月30日（金）までに上記金額をお振込み下さい。期限後に振込みされた方は振込控えまたはコピーをお持ち下さい。

■大会会場へのアクセス

・広島駅より五日市駅 JR山陽本線 各停15分

・五日市駅から

電車：広電（広島電鉄）宮島線「広電宮島口」方面行きに乗車「楽々園」下車 徒歩15分

バス：五日市駅発「楽々園」經由「東観音台団地」「湯来温泉」行きに乗車「広島工大入口」下車、徒歩3分

タクシー：タクシー乗車（約12分、約900円）

■会場設備について

発表会場のPCの準備はございません。各自PCをご持参ください。なお、発表会場にあるプロジェクタとの接続ケーブルは、HDMIのみとなります。もしHDMI接続端子が装備されていないPCをお持ちの方は、HDMI変換アダプタもご持参ください。

■研究発表に関する細則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して「研究発表細則」（学会ホームページ<http://www.jams-web.jp/download/jams-kenkyuuhappyou.pdf>）に従って運営しています。口頭

発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この細則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい。

- ・学生セッションの発表は、正会員との連名とし、ファースト・オーサーは学生とします。
- ・学生セッションでの単独発表は、正会員の学生に限ります。
- ・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、単独発表、連名発表のファースト・オーサーの学生のみとします。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず2頁とします。

2024 年度第 1 回理事会のまとめ

I. 開催日時：5 月 18 日(土) 11 時 10 分～12 時 10 分

II. 開催場所：麗澤大学 柏キャンパス 校舎さつき 3202

III. 出席者：椎原正次、板倉宏昭、鄭年皓、西口宏美、石田修一、江口翔一、川中孝章、後藤智、田畑智章、永松陽明、柊紫乃、深澤琢也、水上祐治、三森八重子、村山誠、上原衛、奥井秀樹、金子勝一、佐々木桐子、佐藤修、曾我寛人、谷崎隆士、東海詩帆、中井秀樹、林誠、堀江育也、村山賢哉、毛利進太郎、柳田義、山下洋史、吉田健一郎、松丸正延 記録者：江口翔一 (敬称略)

IV. 審議事項

1. 2023 年度第 5 回議事録の確認(江口)：資料の通り説明され了承された。
2. 会員の入退会について(江口)：資料の通り説明され了承された。2024 年 5 月 14 日現在、会員構成は正会員 479 名、学生会員 171 名、特別会員 4 名となった。
3. 第 72 回全国研究発表大会の準備状況について(吉田)：約 120 名の事前参加申し込みがあり、当日を含めると 130 名程度になるのではないかと予想している。懇親会についても 50 名程度申し込んで頂いている。準備は滞りなく整っているとの説明があった。
4. 第 73 回全国研究発表大会について(佐々木)：第 73 回全国研究発表大会の準備状況について説明され了承された。大会場所は広島工業大学、開催日は 12 月 7 日(土)、8 日(日)、実行委員長は松本慎平理事である。使用教室と懇親会会場については、予約済みである。統一論題は「技術の民主化と経営システム(仮)」とし、基調講演は武村達也氏が予定されている。開催計画について、異議なく承認された。
5. 第 45 回通常総会議案書について(江口)：総会の議案書が提示され内容の確認がなされた。誤字や記載漏れが見つかったので議案の説明時に口頭で修正することとし、議案書が確定された。なお谷崎理事より、繰越金が多いので収支のバランスを図るべきではないかという意見があった。田畑財務委員長が学会運営や会員のため企画を各種委員会に提示済みであると回答した。椎原会長より IJAMS や学会誌の査読システムや会員管理システムの導入について検討しているが継続審議中であると説明された。
6. 役員選出委員会の設置について(椎原)：第 23 期(2025～2026 年度)の役員選挙が、2024 年度に実施される。そこで、役員選出規程の第 6 条に基づいて役員選出委員会を設置することが提案され了承された。役員選出委員の人選は川中孝章常任理事に依頼され、第 2 回理事会にご提案いただくことになった。
7. 査読のお礼について(田畑)：前回の理事会にて、査読の謝礼を図書カードから QUO カードに変更することが提案されていた。税務上の問題が無いか税理士に確認したが、5 万円未満であれば源泉徴収は必要ないことから、学会としては特に問題が無いようである。そこで、図書カードから QUO カードに変更することが決定された。

V. 報告事項

1. 評議員会について(椎原)：11 名の評議委員のご出席があり、総会議案書について説明し、誤字の指摘と貸借対照表について質問があった。石島評議員からは、学会が非営利団体であることを明確にするために、利益の配分はしない、解散時には資産等を非営利団体に寄付するなどの文面を会則に入れてはどうかという提案があった。この提案については、今後、理事会にて検討することにする。
2. 総会での役割の確認について(江口)：総会の役割分担について確認がなされた。書記には青山学院大学の藤本薫氏、愛知工業大学の福沢和久氏、議事録署名人には千葉商科大学の櫻井聡氏、株式会社藤田住環境計画の八坂和史氏を推薦する旨が報告された。

第73回 日本経営システム学会 全国研究発表大会 プログラム

【12月7日(土)】 受付開始10:00～(場所:広島工業大学五日市キャンパスNews21 6f)

時 間	会 場
10:30～12:00	理事会 (新4号館211)
12:00～12:45	休憩 (News 6f ラウンジ・バンクーナー)・各編集委員会 (新4号館211, 112, 324, 325, 326) 表彰委員会 (新4号館324 or 112)
時 間	会 場 (News21 6f 603)
12:45～13:00	実行委員長挨拶 広島工業大学 松本 慎平 会長挨拶 大坂工業大学 相原 正次
13:00～14:00	基調講演:「技術の民主化と経営システム」 武村達也氏 (株式会社IIS、広島インターネットビジネスサテライト・DX研究部会副会長、特定非営利活動法人HIOI)
14:00～14:10	休 憩

時 間	A会場 (一般:News21 6f 601) 司会 調集中	B会場 (一般:News21 6f 602) 司会 調集中	C会場 (一般:News21 6f 603) 司会 調集中	D会場 (一般:News21 6f 607) 司会 調集中	時 間	E会場 (学生:News21 6f 608) 司会 調集中	F会場 (学生:News21 6f 609) 司会 調集中
14:10～14:40	ニコーノーマル研究部会 ブラジルのCOVID-19関連医薬品の製造と特許化 権保護 *日本大学 加藤 孝子 *慶應義塾大学 葛原 一昭 *大阪大学 三森 八穂子 *東京国際工科大学 上條 浩一 *日本大学 加藤 浩	経営品質科学研究部会 職場のミドル・マネジャー主導QOLと情報活性化 *東京経済大学 山下 洋史 *山梨学院大学 金子 勝一 *明治大学 山下 洋史	第一編題 地方自治体における情報システムの標準化の進展に関する研究 *早稲田大学 三原 康司 *東北大学 永松 陽明 *東北大学 永松 陽明	効率的組織幸福度調査法-幸福因子とAPSによる検討- *早稲田大学 三原 康司	14:10～14:30	A Study on AI-Driven Efficiency Improvement in Japanese Government Organizations *東京大学 山下 陽典 *早稲田大学 中野 雅史	AIを用いた組織効率における、不動産価格決定モデルの変数選択と検証に関する検討 *神奈川大学 五十員 寛 *早稲田大学 中野 雅史 *早稲田大学 中野 雅史
14:40～15:10	ニコーノーマル研究部会 特許による革新産業品上乗の予測およびそれら特許の取扱い *東京国際工科大学 上條 浩一	経営品質科学研究部会 コミュニケーション・ネットワークにおけるプラットフォーム構築を考慮したフュージ・エントロピーモデル *福岡山公立大学 鄭 年皓 *明治大学 山下 洋史	地域活性化のためのWebを活用した地域情報発信のあり方の研究 *横浜国立大学 柳田 義雄 *東北大学 永松 陽明	日本におけるサブライチエーションのIT化に関する研究 *情報情報プラットフォームの事例を中心として *国土院大学 税所 哲郎	14:50～15:10	An Experimental Study on the Impact of Generative AI on Students' Information Behavior *東洋大学 並木 玲緒 *東洋大学 中野 雅史	採掘系サブデータと財務データに基づくAttention機構を利用した株価予測 *青山学院大学 廣部 勝大 *青山学院大学 岩田 遼 *青山学院大学 熊谷 敬

時 間	A会場 (一般:News21 6f 601) 司会 調集中	B会場 (一般:News21 6f 602) 司会 調集中	C会場 (一般:News21 6f 603) 司会 調集中	D会場 (学生:News21 6f 607) 司会 調集中	E会場 (学生:News21 6f 608) 司会 調集中	F会場 (学生:News21 6f 609) 司会 調集中
15:10～15:20	ニコーノーマル研究部会 レゾナンス *クニエ 小川 敬造	経営品質科学研究部会 組織の「脱」メンバーの「不活性化」 *日本大学 橋 潤磨 *明治大学 山下 洋史	地域都市の成長・成熟と進出人口比率の関与性-福岡県東部の分析事例- *福岡大学 関分 一典 *福岡大学 関分 由之	旧コード決済アプリ/機能の品質認識とユーザー満足との関係 *東洋大学 國立 留平 *東洋大学 藤村 梨花 *東洋大学 松岡 相希 *東洋大学 野中 誠	ブリッジ Japan's Digital Divide among the Elderly Using Smart Displays *東洋大学 鈴木 大貴 *東洋大学 中野 雅史	ラッセル環境モデルに基づく高感度性能を向上したオンラインゲーム設計モデルの提示 *早稲田大学 内田 寛泰 *早稲田大学 三原 康司
15:20～15:50	ニコーノーマル研究部会 An analysis of India's bioindustry and its expansion due to the transformation of modality fuels *Osaka University Teako Misumori IIS Anjula Gurtoo	経営品質科学研究部会 タイ2020バスターン回帰とあいまいなメンバシップ関数 *下関市立大学 新内真之	アウトドア環境の創出による三義村の経済波及効果の試算 *福岡大学 樋口 昌之 *三義町 高宮 俊樹 *応用地質 山崎 聖人 *応用地質 沖津 二朗	生成AIにおけるハルシネーションが技術習得に与える影響 *東洋大学 熊手 翔史 *東洋大学 関崎 希志 *東洋大学 吉村 彩加 *東洋大学 重 子彦 *早稲田大学 野中 誠 *早稲田大学 野中 誠	An Experimental Study of AI Audit in Accounting and Auditing *Toyo University 森 貴憲 *Toyo University 中野 雅史	構造的空間からの視覚による、日本の電気機器企業における中心的な技術の変化 *早稲田大学 奥村 秀明 *早稲田大学 伊田 文彦
15:50～16:20	ニコーノーマル研究部会 An analysis of India's bioindustry and its expansion due to the transformation of modality fuels *Osaka University Teako Misumori IIS Anjula Gurtoo	経営品質科学研究部会 タイ2020バスターン回帰とあいまいなメンバシップ関数 *下関市立大学 新内真之	アウトドア環境の創出による三義村の経済波及効果の試算 *福岡大学 樋口 昌之 *三義町 高宮 俊樹 *応用地質 山崎 聖人 *応用地質 沖津 二朗	生成AIにおけるハルシネーションが技術習得に与える影響 *東洋大学 熊手 翔史 *東洋大学 関崎 希志 *東洋大学 吉村 彩加 *東洋大学 重 子彦 *早稲田大学 野中 誠 *早稲田大学 野中 誠	生成AIにおけるハルシネーションが技術習得に与える影響 *東洋大学 熊手 翔史 *東洋大学 関崎 希志 *東洋大学 吉村 彩加 *東洋大学 重 子彦 *早稲田大学 野中 誠 *早稲田大学 野中 誠	生成AIにおけるハルシネーションが技術習得に与える影響 *東洋大学 熊手 翔史 *東洋大学 関崎 希志 *東洋大学 吉村 彩加 *東洋大学 重 子彦 *早稲田大学 野中 誠 *早稲田大学 野中 誠
16:20～16:30	休 憩	休 憩	休 憩	休 憩	休 憩	休 憩

【12月7日（土）午後】 16:30～

時間	A会場 (一般: Nexu21 6f 601)	B会場 (一般: Nexu21 6f 602)	C会場 (一般: Nexu21 6f 603)	時間	D会場 (学生: Nexu21 6f 607)	E会場 (学生: Nexu21 6f 608)	F会場 (学生: Nexu21 6f 609)
16:30～17:00	新商品普及過程における動的な効率的なアイテムセグメントマッピング *山手学院大学 岩田 凌 *山手学院大学 岩田 敬 *山手学院大学 熊谷 敬	チャイルドベネディクト&キャリア形成のトレードオフ: 数理最適化のアプローチ *昭和女子大学 前澤 順子 *早稲田大学 大野 高祐	通信交通システムへの顧客系コミュニティの運用 *新潟国際情報大学 佐々木 希子 *東北大学 永松 陽明	16:30～16:50 エンターテインメントにおけるウェアラビリティのワークエンゲージメント形成要因 *明治大学 中村 晴 *明治大学 原岸 順花 *東洋大学 櫻井 愛弓 *東洋大学 野中 悠	スマートフォンアプリの活用によるイベントの周知と参加意欲の向上 *神奈川大学 田村 涼 *神奈川大学 佐藤 重雄 *神奈川大学 金子 雄子 *神奈川大学 竹井 悠介	スマートフォンアプリの活用によるイベントの周知と参加意欲の向上 *神奈川大学 田村 涼 *神奈川大学 佐藤 重雄 *神奈川大学 金子 雄子 *神奈川大学 竹井 悠介	スマートフォンアプリの活用によるイベントの周知と参加意欲の向上 *神奈川大学 田村 涼 *神奈川大学 佐藤 重雄 *神奈川大学 金子 雄子 *神奈川大学 竹井 悠介
17:00～17:30	新商品普及過程における動的な効率的なアイテムセグメントマッピング *山手学院大学 岩田 凌 *山手学院大学 岩田 敬 *山手学院大学 熊谷 敬	AIを用いた新店舗立地と自治体における総合計画分析による課題明確化 (12月1日希望) *横浜国立大学 藤崎 晴彦 *横浜国立大学 藤崎 晴彦	スポーツ関連企業の業績に対する要因分析 *東北大学 永松 陽明 *東北大学 永松 陽明 *東北大学 永松 陽明 *東北大学 永松 陽明	16:50～17:10 市民生活向上におけるベンチの導入による利便性の向上 *神奈川大学 田村 涼 *神奈川大学 佐藤 重雄 *神奈川大学 金子 雄子 *神奈川大学 竹井 悠介	スマートフォンアプリの活用によるイベントの周知と参加意欲の向上 *神奈川大学 田村 涼 *神奈川大学 佐藤 重雄 *神奈川大学 金子 雄子 *神奈川大学 竹井 悠介	スマートフォンアプリの活用によるイベントの周知と参加意欲の向上 *神奈川大学 田村 涼 *神奈川大学 佐藤 重雄 *神奈川大学 金子 雄子 *神奈川大学 竹井 悠介	スマートフォンアプリの活用によるイベントの周知と参加意欲の向上 *神奈川大学 田村 涼 *神奈川大学 佐藤 重雄 *神奈川大学 金子 雄子 *神奈川大学 竹井 悠介
17:30～18:00	新商品普及過程における動的な効率的なアイテムセグメントマッピング *山手学院大学 岩田 凌 *山手学院大学 岩田 敬 *山手学院大学 熊谷 敬	AIを用いた新店舗立地と自治体における総合計画分析による課題明確化 (12月1日希望) *横浜国立大学 藤崎 晴彦 *横浜国立大学 藤崎 晴彦	スポーツ関連企業の業績に対する要因分析 *東北大学 永松 陽明 *東北大学 永松 陽明 *東北大学 永松 陽明 *東北大学 永松 陽明	17:10～17:30 企業の新事業展開・イノベーションに影響する心理的要因を分析するためのアンケート調査 *東北大学 前田 清真 *東北大学 前田 清真 *東北大学 前田 清真 *東北大学 前田 清真	スマートフォンアプリの活用によるイベントの周知と参加意欲の向上 *神奈川大学 田村 涼 *神奈川大学 佐藤 重雄 *神奈川大学 金子 雄子 *神奈川大学 竹井 悠介	スマートフォンアプリの活用によるイベントの周知と参加意欲の向上 *神奈川大学 田村 涼 *神奈川大学 佐藤 重雄 *神奈川大学 金子 雄子 *神奈川大学 竹井 悠介	スマートフォンアプリの活用によるイベントの周知と参加意欲の向上 *神奈川大学 田村 涼 *神奈川大学 佐藤 重雄 *神奈川大学 金子 雄子 *神奈川大学 竹井 悠介

【12月8日(日)】 受付開始9:30～(場所:広島工業大学五日市キャンパスNexus21 6F)

時間	会場 (一般:News21 6F 001) 司会 調整中	内容 (一般:News21 6F 602) 司会 調整中	司会 調整中 (一般:News21 6F 603) 司会 調整中	時間	D会議室 (学生:News21 6F 607) 司会 調整中	F会議室 (学生:News21 6F 608) 司会 調整中	F会議室 (学生:News21 6F 609) 司会 調整中
10:00~11:30	伝説産業における海外ブランドとの融合に関する研究 西澤清吉青年会におけるカバリエリイ	システム思考を用いた訪問販売業の可視化と関係構築分析 *立命館大学 河原 富子 立命館大学 浅 重明	*加藤製作所 小林 延至	10:00~10:20	生乳加工用AIを活用した飼料生産とその効率性検証:データドリブンな最適化のための広域分散的学習 *日本大学 川名 賢登 日本大学 水上 祐治	数値最適化に基づく長距離貨物の自動軌道作成の特許研究 *神奈川大学 山崎 俊大朗 神奈川大学 片桐 英樹 立命館大学 関口 真由 立命館大学 堀田 昌雄	EUが実施するメーカ-ASMLの権利戦略に関する研究
10:30~11:00	大学における研究マネジメントに関する実証研究 *立命館大学 谷口 正城 大阪大学 上野 密介 法政大学 玄端 公規	ファストファッションのビジネスモデルに関する考察 *東洋学園大学 鴻 敬	地域資源の間接効果を高めるコンテクストの喚起:地域住民と観光客の違いから *埼玉大学 木暮 美章 法政大学 諸上 茂光	10:20~10:40	日本企業における労働者の健康と就業パフォーマンス向上に向けた実践的な比較分析:TPO1500企業を対象とした質的比較分析 *日本大学 榎岡 謙 日本大学 水上 祐治	大連調理現場における衛生管理を考慮した調理手順の最適化 *神奈川大学 尾崎 佑樹 神奈川大学 片桐 英樹 立命館大学 関口 真由 立命館大学 堀田 昌雄	統合報告書の価値創造活動に関する比較分析フレームワークの開発案 *東京都市大学 日出間 健 東京都市大学 岡田 公治
11:00~11:10				10:40~11:00	感情動機によるスバーテクノロジー化運動の効果測定とペルソナ抽出に関する考察 *日本大学 荒沢 彩人 日本大学 水上 祐治	折衝協調と折衷解決を実現した組合せ最適化に基づく学校給食の自動軌道作成 Trend of studies on sustainable tourism business model - though literature review analysis *Tokyo City University Ichihama Kenji Osaka Kotaro	
11:10~11:40	地方自治体における管理会計の現状と課題 *明治大学 三木 徹佑 摂南大学 久保 良也	経済社会文化が市場の前導代謝に与える影響分析 *東北学院大学 藤 祐司 東北大学 永松 陽明 立命館大学 濱口 孝	製品企画・開発の「失敗と成功履歴の見え方」と「活用への仕組み作り」に関する研究(第3期) *茨城大学 栗田 麗雄 立命館大学 濱口 孝	11:10~11:30	ドローン利用によるスマートシティプラットフォームに関する調査結果の一考察:1都県を対象とした消費者意識をもとにして *日本大学 手越寿 彰人 立命館大学 坂下 龍斗 日本大学 水上 祐治	財務戦略におけるESG因子の動的調整効果及一定の相互作用に関する研究 *立命館大学 金井 裕征 立命館大学 浅 重明 神奈川大学 片桐 英樹 神奈川大学 杉丸 正晃	財務戦略におけるESG因子の動的調整効果及一定の相互作用に関する研究
11:40~12:10	上場企業の不正会計の事後検出のための非財務情報と財務情報を組み合わせた分析 *法政大学 石島 隆	研究開発投資と収益成長率の関係性の再評価-日本と台湾の電子部品製造産業の実証分析- *早稲田大学 山口 鶴雄 早稲田大学 大野 高裕	国内大企業に着目したスタートアップ企業との共同出版の分析 *立命館大学 鈴木 慎一郎 立命館大学 濱口 孝	11:30~11:50	ゼンマイ型ギョウ虫理論による顧客若く行動促進する要因に関する考察 *日本大学 藤澤 佐枝 オーストラリア オスマー、キング、坂下 龍斗 日本大学 水上 祐治	建設機械の電動化におけるCO2削減効果と経済性の相違 *立命館大学 堀田 昌雄 立命館大学 関口 真由 立命館大学 神山 健太 神奈川大学 片桐 英樹	知財産院の発展を目指す情報開示と企業価値に関する研究 知財産院の発展を目指す情報開示と企業価値に関する研究 *立命館大学 山下 英司 立命館大学 小田 哲明 神奈川大学 片桐 英樹
12:10~13:00				11:50~12:10	密着付着部材による建築業者の意思決定支援と信頼形成に関する一考察:横浜市の区役所職員を対象として *日本大学 服部 祐典 日本大学 水上 祐治	資料の整理方法の整備および情報開示と企業価値に関する研究 知財産院の発展を目指す情報開示と企業価値に関する研究 *立命館大学 山下 英司 立命館大学 小田 哲明 神奈川大学 片桐 英樹	

【12月8日(日) 午後】 13:00～

時 間	D会場 (一般: Nexus21 of 607) 司会 調整中	E会場 (一般: Nexus21 of 608) 司会 調整中	時 間	F会場 (学生: Nexus21 of 609) 司会 調整中
13:00～13:30	サービス設計におけるモジュール共通化方式の研究 *駒澤大学 杉西 肇一 *東北大学 永松 陽明	持続的成長と戦略的人的資源管理の関係 ー共有価値創造活動の視点からー *東京工業大学 高田 真也 *早稲田大学 岩本 大輔	13:00～13:20	フードテラバーににおける配選選風の変更分析 *筑波大学 三好 朋彦 *東海大学 江澤 寛花 *東海大学 堀井 悠斗 *東海大学 田嶋 智章
13:30～14:00	株式会社公開販付における顧客プレミアムと事務的に生じるのれんの間の関係の計量分析* *愛知産業大学 丸山 宏	経営理念と現場に現れる実践の適合性 *龍谷大学 寺本 佳苗	13:20～13:40	ライブチャットデータを用いた感情分析による野球選手の長点システム *筑波大学 江澤 寛花 *筑波大学 堀井 悠斗 *東海大学 堀井 悠斗 *東海大学 田嶋 智章
14:00～14:10			13:40～14:00	潜在的デリクリシ配分法を用いたJPOPの歌詞におけるトビウツ家達の演出 *東海大学 井田 光祐 *上智大学 大竹 魁平 *東海大学 田嶋 智章
14:10～14:40	Intuitionistic Fuzzy Setsの距離に基づく類似度計算とその応用 ー設備稼働選択における計画能力のフェイザ定ー *愛知淑徳大学 上原 衛	半導体製造設備産業における寡占化進展プロセスの分析 *パナソニック流通 利幸 *大森大学 上西 啓介 *東北大学 石田 修一 *兵庫県立大学 阪野 真之	14:10～14:30	ふるさと納税制度を利用したクラウドファンディングの成功要因 ー自治体間の競争力による分析と機械学習を用いた予測の可視化ー *京都大学 岸本 樹 *京都大学 大庭 哲治
14:40～15:10	FCG法の真矛盾感と選好度ー従来の矛盾感との比較ー *京都創成大学 山田 淳巳 *関西国際大学 成瀬 健一郎 *愛知工業大学 小田 恒久 *専修大学 高萩 栄一郎	地域のマイクロイベント情報共有システムにおけるメタデータを用いた世代予測 *刈り井上 大地 *広島工業大学 松本 慎平	14:30～14:50	住居ニーズに対する自治体の政策立案と実行の在り方 *摂南大学 林田 真哉 *摂南大学 岩本 哲也 *摂南大学 久保 貴也
			14:50～15:10	地域の個性と双事業の関係性 ーフアンタラビ田園都市国際構想の現状に基づく検証ー *摂南大学 中村 結菜 *摂南大学 久保 貴也

学会役員（会長ならびに被選出常任理事）の改選について

役員選出委員会 委員長 川中 孝章

日本経営システム学会では2年の任期を迎える常任理事の改選の時期となりました。この役員選出を実施するために、下記の通り役員選出委員会が組織され、理事会において承認されました。今後、学会会則ならびに役員選出規程に則り、役員選挙の告示（11月8日）、候補者の募集、郵送による投票等を順次実施してまいります。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

なお、本学会では選挙によって15名の被選出常任理事を選び、さらにその中から、会長を互選によって選出いたします。この被選出常任理事の候補者は、正会員（正会員および名誉会員の推薦人1名以上を要す）のどなたでも結構です。学会活動にご理解ある方々のご応募をお待ちしております。

役員選出委員会委員（順不同、敬称略）

川中 孝章（委員長・東京大学）	島田 裕次（東洋大学）	鈴木 貴大（日本大学）
野中 誠（東洋大学）	本多 啓介（統計数理研究所）	

ニューノーマル研究部会のお知らせ

ニューノーマル研究部会 2024年度第6回会合（通算第32回）（政策分科会）

開催日時：2024年11月30日（土曜日） 14時～15時30分

開催方法：ハイブリッドで開催（対面＋ZOOM）（通訳付き）

対面開催場所：東京国際工科専門職大学（最寄り駅：JR新宿駅）

講演タイトル：「インドの科学技術政策と日印協力」

講師：Prof. Anjula Gurtoo インド理科大学院教授（Indian Institute of Science＝IIS）

講演内容：AI、ロボティクス、IoT、水素燃料、ARといった革新技術はわれわれの生活や、ビジネス、世界との関係性を大きく変革しつつあり、これら革新技術の今後の発展と社会へのインパクトは今や予見不可能となっている。今回の講演では、これら革新的技術が社会に与えるインパクトに対するインドの政策をお話する。講演では、優先順位のみならず、重点分野の再編、社会経済的厚生実現のための研究開発手法の決定にも触れる。加えて、持続可能性実現のための政策立案と、日印協力のための政策を提言する。

講師略歴：Prof. Anjula Gurtoo インド理科大学院教授 Anjula Gurtoo 博士は科学技術政策を専門とし、これまでに3冊の著作と、72本の論文を発表している。同博士は、Chevening/Rolls-Royce Science and Innovation Leadership Fellowship, British High Commission Editors' Choice Award など数多くの賞を受賞している。加えてインド政府科学技術省科学技術庁を含む政府の主要な委員会の委員を務めている。

参加方法：以下のURLから出席可否の登録をお願いします。ご登録締め切りは2024年11月27日17時です。<https://forms.gle/uCxHwcFfbe5LoJZy5>

オンライン参加のご登録者には後ほどZOOM招待状を送付させていただきます。

対面参加のご登録者には後ほど会場の詳細情報をお送りします。

※ご不明な点がございましたらご連絡ください。また今後会合のお知らせを希望されない方は下記までご連絡ください。

三森八重子・大阪大学招聘教授 dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp

上條浩一・東京国際工科専門職大学教授 kkamijoh@gmail.com

研究部会 Web ページ：<http://www.jams-web.jp/information/sectnn2024.html>

ニューノーマル研究部会のお知らせ

ニューノーマル研究部会 2024 年度第 7 回会合（通算第 33 回）（ビジネスモデル分科会）

開催日時：2025 年 1 月 25 日（土曜日） 14 時～15 時 45 分

開催方法：ハイブリッドで開催（対面+ZOOM）（*高橋先生は関西から ZOOM でおはいりになります。東京に会場を設けますので希望者は東京の会場からご参加ください）

対面開催場所：東京国際工科専門職大学（最寄り駅：JR 新宿駅）

講演タイトル：「持続可能な再生医療」

講師：高橋政代先生（株式会社ビジョンケア 代表取締役社長）

講演内容：2014 年の世界初の iPS 細胞の臨床応用から 10 年、我々は網膜細胞移植を標準治療にするために開発を続けてきた。それぞれ 15 年を超える京都大学病院での眼科臨床経験と理化学研究所でのラボ運営を経て、再生医療という新規モダリティの治療を確実に成功させるために自身で会社を運営し実用化する必要があると判断し、2019 年から経営者となった。現在市場を拡大している抗体医薬というモダリティが出てきた際には日本は躊躇して出遅れたと言われているが、細胞治療という新たなモダリティ変化では iPS 細胞が発明されたこともあり、再生医療開発の法整備も含め世界でもよい位置につけている。一方で、いまや世界では創薬はアカデミア発のスタートアップが担っているのに比べ、日本はシーズの良さに比べスタートアップのエコシステムが未だ成熟していない。アカデミアからスタートアップ、治療実装というサイエンスサイクルをまわすこと、バイオと AI ロボットの融合、高額となる再生医療を標準治療としていくための神戸アイセンター構想、保険を含めた医療システムに必要なことなどをお話する。

講師略歴：高橋政代先生 京都大学医学部卒業。京都大学大学院医学研究科博士課程（視覚病態学）修了、同附属病院眼科助手を経て 1995 年米ソーク研究所研究員。2001 年京都大学医学部附属病院探索医療センター開発部助教授。2006 年理化学研究所へ入所し、網膜再生医療研究開発プロジェクトのリーダーとして 2014 年世界初の iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞移植を実施する。2017 年には神戸市の協力のもと神戸アイセンターを設立。2019 年理化学研究所を退所、株式会社ビジョンケア代表取締役社長に就任（現職）。2022 年より神戸市立神戸アイセンター病院研究センター顧問（現職）。専門は網膜変性疾患・黄斑部疾患と再生医療研究。

参加方法：以下の URL から出席可否の登録をお願いします。ご登録締め切りは 2024 年 11 月 27 日 17 時です。<https://forms.gle/qwF2FdjdD6KPS8eq5>

オンライン参加のご登録者には後ほど ZOOM 招待状を送付させていただきます。

対面参加のご登録者には後ほど会場の詳細情報をお送りします。

※ご不明な点がございましたらご連絡ください。また今後会合のお知らせを希望されない方は下記までご連絡ください。

三森八重子・大阪大学招聘教授 dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp

上條浩一・東京国際工科専門職大学教授 kkamijoh@gmail.com

研究部会 Web ページ：<http://www.jams-web.jp/information/sectnn2024.html>

経営モデル研究部会のお知らせ

経営モデル研究部会 2025 年度第 3 回研究部会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2025 年 1 月 25 日（土） 15:00-17:00

開催場所：ZOOM によるオンライン会議形式

発表予定者：調整中です。

連絡先：田畑 智章（東海大学）TEL.03-3441-1171（代表）/E-Mail:tabata@tokai-u.jp

〃：金子 勝一（山梨学院大学）TEL.055-224-1337/E-Mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

研究部会 Web ページ <http://www.jams-web.jp/information/sectmm2024.html>

ヒューマンリソース（HR）研究部会のお知らせ

ヒューマンリソース（HR）研究部会 2024 年度第 4 回研究部会（第 152 回）を開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2025 年 2 月 1 日（土） 15:00-17:00

開催場所：ZOOM によるオンライン会議形式

発表予定者：調整中です。

連絡先（幹事）：金子勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

研究部会 Web ページ：<http://www.jams-web.jp/information/secthr2024.html>

入会者リスト

(2024. 5. 16～2024. 9. 13)

1. 正会員入会希望者

氏 名	所 属
河原 宣子	京都橘大学

氏 名	所 属
-----	-----

2. 学生会員入会希望者

氏 名	所 属
伊藤 周祐	東京富士大学
林 留里	立命館大学大学院
奥村 寿朗	関西大学大学院
古賀 矢響	福岡工業大学

氏 名	所 属
中野 真弓	東京工科大学大学院
李 智雲	立命館大学大学院
出水 継筑	波大学大学院

横幹連合のお知らせ

日本経営システム学会が加入している横幹連合（横断型基幹科学技術研究団体連合の略称）で全国大会が開催されます。他学会と交流できる場ですので、ぜひご参加下さい。（会員学会：33 学会）

【第 15 回横幹連合コンファレンス】

日時：2024 年 12 月 14 日（土）9:45～18:15、12 月 15 日（日）9:45～16:15

場所：東京科学大学 大岡山キャンパス（東京都目黒区）、ハイブリッド開催

大会テーマ：「多分野連携研究と横断型人材育成」

詳細：<https://www.trafst.jp/trafst2024/>

日本経営システム学会会員は参加費が割引かれます。



日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 バラードハイム 703
TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185
E-Mail: keieisys@jams-web.jp